

漁海況情報

2000年(平成12年)9月

第334号

沖縄県水産試験場

901-0305 沖縄県糸満市西崎1丁目3番1号

電話 098-994-3593・3597

ファクシミリ 098-995-2357

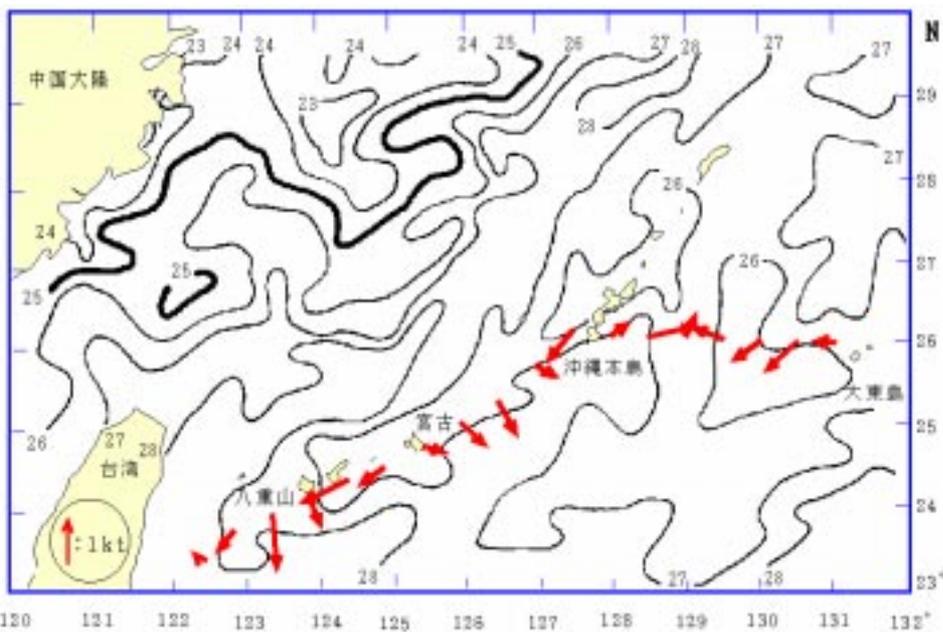


図1 表面水温分布図(2000年9月19日)、表層平均流況図(大東行9/16-17、台湾行9/13-14)
資料：東シナ海海況速報(漁業情報センター)、だいとう(大東海運)、飛龍21(有村産業)

海況

天候：9月は北-北東の風が多く、全体の48%を占めた。沖縄本島地域では風速9-11m以上の予報日は9日で、中旬に台風14, 15号が接近した(琉球新報天気欄より)。

流況：9/13-9/17の観測結果では、那覇-大東間の大東よりで南西に流れていた。那覇-宮古間中央では南東に流れていた(定期船による観測結果：図1)。

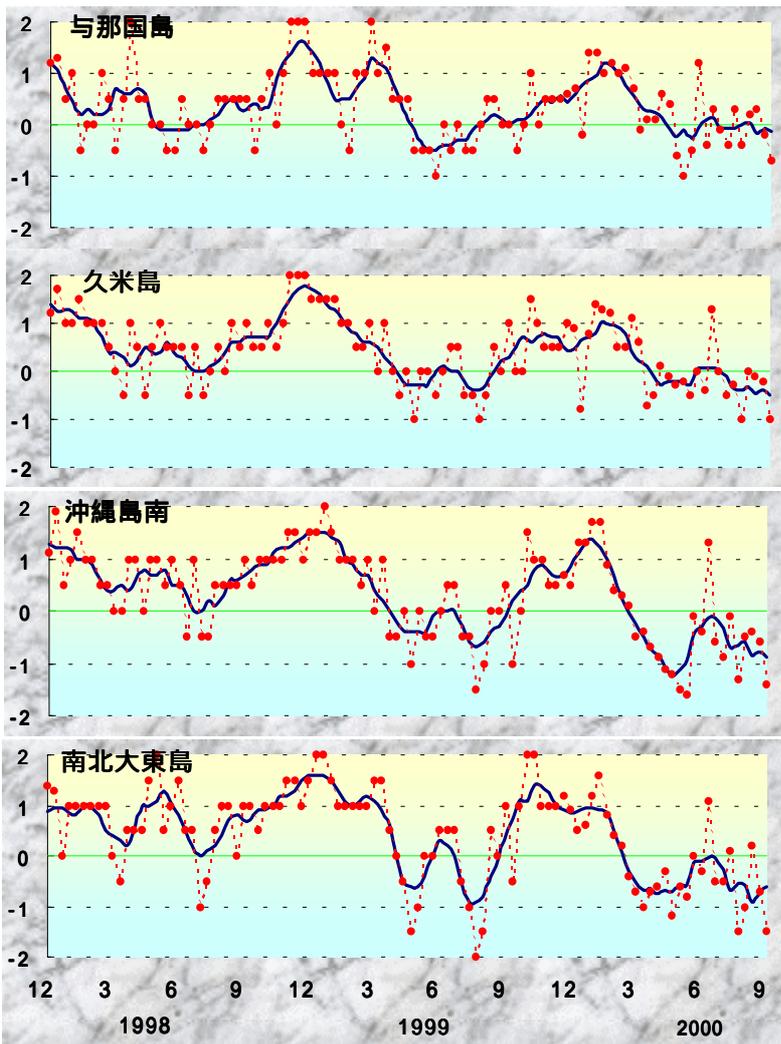
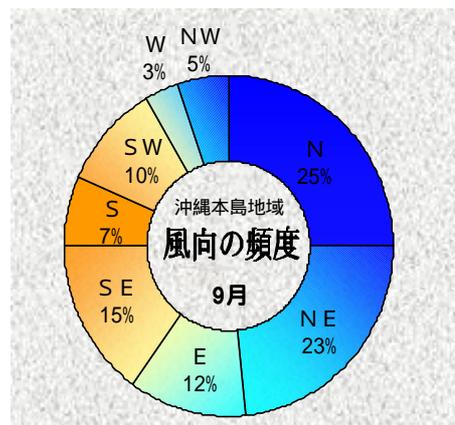


図2 沖縄近海における表面水温偏差(目盛りは旬)
資料：西日本海況旬報(長崎海洋气象台)



表面水温：9/19(9/12~9/18)では、与那国島から八重山で26-28台、宮古島は26台、久米島・沖縄島西側は25-26台、南・北大東島は26台で、前月中旬より2ほど降温した(図1)。

与那国、久米島、沖縄島南、南北大東島周辺の表面水温の年間偏差を図2に示した。

9月の表面水温年間偏差

与那国	年間並み
久米島	年間並み
沖縄島南	やや低め
大東島	やや低め

漁況

パヤオ漁業：沖縄島南部海域ではキハダ、伊良部ではシビ、奄美群島ではカツオの漁獲が多かった。

*奄美海域の漁獲情報提供：鹿児島県大島支庁



ナンヨウカイワリ (ガーラ)

表1 9月のパヤオ漁業の漁協別漁獲量(t)

魚種名	糸満	港川	知念	沖縄市	計	伊良部	奄美群島
シイラ	5.5	2.5	2.2	2.1	12.3	1.9	15.5
カガキ	1.9	0.3	0.2	0.0	2.4	0.3	0.5
沖サワラ	2.3	0.2	0.2	0.6	3.4	0.4	6.3
カツオ	0.3	0.0	0.2	0.0	0.6	6.4	23.3
キハダ	18.1	4.2	4.3	2.5	29.2	15.2	1.1
シビ	16.7	5.8	5.8	12.5	40.9	20.7	52.9
メバチ	0.6	0.1	0.9	1.6	3.1	0.3	7.8
計	45.4	13.2	13.8	19.4	91.9	45.2	107.4

糸満では、キハダ(10kg以上)が18.1t、シビ(10kg未満)が16.7t漁獲された。キハダは、港川で4.2t、知念で4.3t、沖縄市ではシビが12.5t漁獲された(表1)。

表2 6~10月のキハダ(10kg以上)漁獲量(t) 沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)

年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-9計
1996年	15.4	20.9	30.6	21.2	15.8	88.1
1997年	32.8	38.2	28.4	15.4	54.6	114.8
1998年	48.3	43.9	69.4	22.9	18.4	184.5
1999年	37.9	46.8	27.8	26.3	36.9	138.8
2000年	25.9	6.5	29.0	29.2		90.6

沖縄本島南部海域における過去5年間の7~11月期のキハダとシビ、シイラの漁獲量を表2~4に示した。

キハダの漁獲量は29.2tで、8月(29.0t)並みの漁獲だった。昨年の9月(26.3t)とほぼ同水準で例年並だった(図3)。

表3 6~10月のシビ(10kg未満)漁獲量(t) 沖縄島南部4漁協合計

年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-9計
1996年	29.8	30.6	59.5	48.3	30.4	168.2
1997年	29.5	29.5	16.0	13.1	16.0	88.1
1998年	20.5	35.3	53.4	42.7	34.4	151.9
1999年	24.3	28.7	35.3	25.2	21.2	113.5
2000年	40.8	31.4	20.9	40.9		134.0

表4 6~10月のシイラ漁獲量(t) 沖縄島南部4漁協合計

年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-9計
1996年	5.4	0.4	1.9	3.1	6.1	10.8
1997年	6.5	0.8	1.1	5.9	11.9	14.3
1998年	9.9	1.4	2.0	3.4	21.8	16.7
1999年	3.7	0.6	2.9	5.6	15.2	12.8
2000年	4.9	0.2	2.3	12.3		19.7

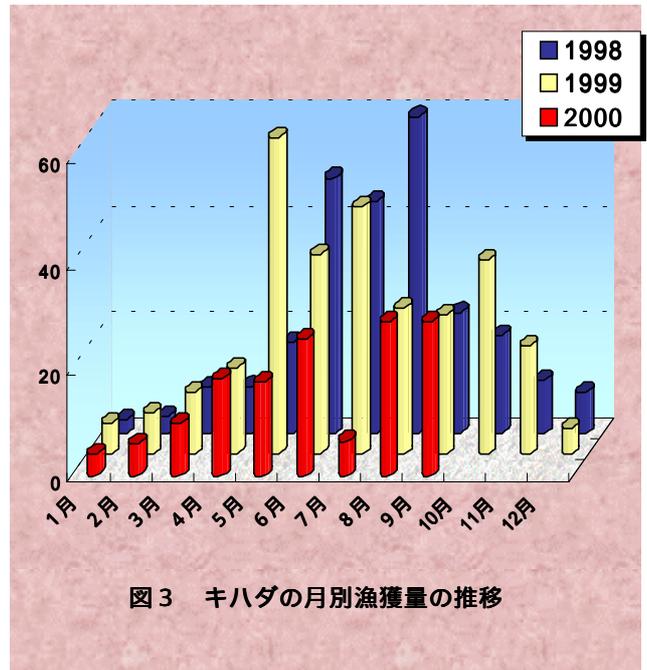


図3 キハダの月別漁獲量の推移

定置網：9月の全体の漁獲状況は、8月(23.0t)に比べて少なかった。グルクマの漁獲が4割を占めた。

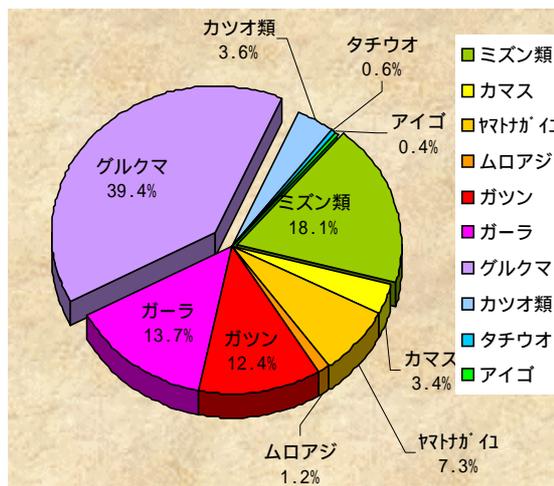


表5 9月の定置の主要魚種別漁獲(t)

魚種名	大型定置			小型定置			合計
	読谷	知念	石川	与那原	勝連	与那城	
ミズン類	1.5	0.0	0.0	0.5	0.3	0.0	2.3
カマス	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.4
ヤマトガイ	0.8	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.9
ムロアジ	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
ガツン	1.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.0	1.6
ガーラ	0.6	0.3	0.1	0.3	0.3	0.1	1.7
グルクマ	3.6	0.1	0.5	0.3	0.3	0.2	5.0
カツオ類	0.3	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.5
タチウオ	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
アイゴ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	1.6	0.6	0.3	0.2	0.2	0.2	3.1
合計	9.6	1.2	1.2	1.9	1.3	0.6	15.8